



## 平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年11月13日

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 上場取引所 東証二部・札証  
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角野 中原  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部担当 (氏名) 青木 利壽 TEL (011)888-2051

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	54,554	1.8	583	53.8	611	51.0	508	45.8
19年12月期第3四半期	55,551	0.9	1,262	50.9	1,246	54.7	937	149.9
19年12月期	73,494		1,368		1,358		835	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	13	90		
19年12月期第3四半期	25	63		
19年12月期	22	86		

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年12月期第3四半期	43,912		36,079		82.2	987	12	
19年12月期第3四半期	44,531		36,318		81.6	993	60	
19年12月期	44,293		36,206		81.7	990	56	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第3四半期	1,738		2,395		654		3,900	
19年12月期第3四半期	3,744		3,492		630		4,257	
19年12月期	4,988		3,750		660		5,213	

### 2. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日) (％表示は対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	72,300	1.6	300	78.1	250	81.6	130	84.4	3	56

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 「4. その他」をご覧ください。]

(参考) 個別業績の概況

1. 平成 20 年 12 月期の個別業績予想

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	62,500	1.8	50	94.5	200	81.4	50	93.8	1	37

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 20 年 2 月 19 日に発表しました平成 20 年 12 月期通期連結および個別業績予想を修正いたしました。上記予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後、様々な要因によって実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益は減少しており、個人消費もおおむね横ばいの状況にあるなど、景気回復はこのところ弱含みの状態となっております。

清涼飲料業界では、食料品や燃料価格の値上げなどにより消費者側で生活防衛意識が高まる一方、企業においては原材料や資材価格、物流費の高騰が続いており、市場環境は急速に悪化しています。とりわけ北海道においては、全国と比較して個人消費、観光、雇用情勢などあらゆる動向において明るい兆しが見られず、引き続き厳しい市場環境が続きました。

このような状況のなかで、本年度は中期経営計画「変化への挑戦～北の大地とともに～」の締めくくりの年として、様々な活動を実施してきました。7月7日から7月9日にかけて行われた北海道洞爺湖サミットでは、国内NO.1の省エネ性能を誇るノンフロンキャッシュレス自動販売機「e-40（イーフォーティ）」をサミット関連施設に設置するなど環境に対する取り組みをアピールするとともに、「コカ・コーラ」及び「コカ・コーラ ゼロ」350ml 缶にサミットロゴマークを配した「北海道洞爺湖サミット開催記念缶」を発売するなど、地域の皆様とともに北海道洞爺湖サミットを応援しました。また、8月に開催された北京オリンピックでは、日本コカ・コーラのスポーツアンバサダー（親善大使）である北島康介選手の活躍を、コカ・コーラシステムを挙げて応援するとともに、北京オリンピックオフィシャルスポンサーとして各飲料分野においてオリンピック関連のプロモーションを実施し、販売強化につとめました。

その結果、当第3四半期連結累計期間については、販売競争の激化や原油価格高騰などの影響から、売上高は545億5千4百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は5億8千3百万円（前年同期比53.8%減）、経常利益は6億1千1百万円（前年同期比51.0%減）、四半期純利益は5億8百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末と比べ流動資産が1千5百万円増加したものの、販売機器などの固定資産が3億9千5百万円減少したことにより3億8千万円減少の439億1千2百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比べ流動負債が1億5千6百万円減少し、役員退職慰労金などの固定負債が9千6百万円減少したことにより、2億5千3百万円減少の78億3千3百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ1億2千7百万円減少の360億7千9百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果によって得られた現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、17億3千8百万円（前年同期37億4千4百万円の収入）になりました。主な増加項目は、税金等調整前四半期純利益5億7千7百万円、減価償却費25億6千7百万円、主な減少項目は、役員退職慰労引当金の減少10億5千1百万円、売上債権の増加4億7千9百万円、仕入債務の減少7億1百万円などがあったことによるものです。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は、23億9千5百万円（前年同期34億9千2百万円の使用）になりました。これは主に販売機器などの有形固定資産の取得19億7千3百万円によるものです。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果によって使用した資金は、6億5千4百万円（前年同期6億3千万円の使用）になりました。これは主に配当金の支払6億5千1百万円によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年12月期の連結および個別業績予想につきましては、販売数量の減少や原油価格の高騰等による影響により、平成20年2月19日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成20年11月13日公表の「通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用  
該当事項はありません

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が平成20年3月31日以前に開始する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、当期から同会計基準を適用しております。これにより従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円減少しております。

## 4.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 連結累計期間末 (平成19年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間末 (平成20年9月30日)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年12月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1 現金及び預金	4,267	3,910	356	8.3	5,223
2 受取手形及び売掛金	5,876	5,513	362	6.2	5,250
3 たな卸資産	2,076	2,044	32	1.5	2,178
4 繰延税金資産	4	3	1	30.2	1
5 その他	1,206	2,587	1,380	114.4	1,400
貸倒引当金	23	23	0		33
流動資産合計	13,407	14,035	627	4.7	14,020
<b>固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	8,020	7,576	444	5.5	7,868
(2) 機械装置及び 運搬具	3,802	3,349	452	11.9	3,716
(3) 販売機器	5,306	4,662	643	12.1	4,809
(4) 工具器具及び備品	302	259	43	14.3	283
(5) 土地	6,650	6,567	83	1.3	6,590
(6) 建設仮勘定		224	224		
有形固定資産合計	24,083	22,640	1,442	6.0	23,268
2 無形固定資産					
(1) ソフトウェア	338	371	33	9.9	326
(2) その他	41	25	15	38.3	26
無形固定資産合計	379	397	17	4.7	352
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,244	966	277	22.3	1,024
(2) 長期貸付金	140	266	125	89.5	137
(3) 繰延税金資産	65	58	7	11.1	59
(4) 前払年金費用	4,575	4,740	165	3.6	4,716
(5) 長期前払費用	283	295	11	4.1	197
(6) その他	438	595	157	35.8	599
貸倒引当金	87	84	2		83
投資その他の 資産合計	6,661	6,839	178	2.7	6,651
固定資産合計	31,123	29,877	1,246	4.0	30,272
資産合計	44,531	43,912	618	1.4	44,293

科 目	前第3四半期 連結累計期間末 (平成19年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間末 (平成20年9月30日)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年12月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1 買掛金	664	398	265	40.0	1,099
2 未払法人税等	102	85	16	16.5	90
3 その他	4,406	4,290	116	2.6	3,740
流動負債合計	5,173	4,774	398	7.7	4,931
<b>固定負債</b>					
1 繰延税金負債	1,891	1,961	70	3.7	1,950
2 退職給付引当金	156	139	17	11.1	141
3 その他	990	958	32	3.3	1,063
固定負債合計	3,039	3,059	19	0.6	3,155
負債合計	8,212	7,833	379	4.6	8,086
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
1 資本金	2,935	2,935			2,935
2 資本剰余金	4,924	4,924	0	0.0	4,924
3 利益剰余金	29,343	29,092	251	0.9	29,242
4 自己株式	891	893	1		892
株主資本合計	36,312	36,059	252	0.7	36,210
<b>評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券 評価差額金	6	19	13	203.9	3
評価・換金差額等 合計	6	19	13	203.9	3
純資産合計	36,318	36,079	239	0.7	36,206
負債純資産合計	44,531	43,912	618	1.4	44,293

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
<b>売上高</b>	55,551	54,554	997	1.8	73,494
<b>売上原価</b>	33,990	33,727	263	0.8	45,057
売上総利益	21,561	20,827	734	3.4	28,436
<b>販売費及び一般管理費</b>	20,298	20,244	54	0.3	27,068
営業利益	1,262	583	679	53.8	1,368
<b>営業外収益</b>	92	124	32	35.5	128
1 受取利息	11	19	7		19
2 受取配当金	4	5	1		5
3 固定資産賃貸料	19	30	11		25
4 自動販売機補助金		28	28		
5 その他	56	40	16		77
<b>営業外費用</b>	108	96	11	10.7	138
1 支払利息		1	1		
2 固定資産除売却損	80	24	56		99
3 固定資産賃借料	1		1		1
4 貸与資産減価償却費		4	4		
5 寄付金		31	31		
6 調査費用		17	17		
7 その他	25	17	8		37
経常利益	1,246	611	635	51.0	1,358
<b>特別利益</b>	2,855	99	2,756	96.5	2,867
1 前期損益修正益	5		5		6
2 固定資産売却益	8	18	9		19
3 貸倒引当金戻入益	3	6	3		2
4 退職給付制度移行時差益	2,836		2,836		2,836
5 役員退職慰労引当金戻入益		70	70		
6 その他	1	3	1		1
<b>特別損失</b>	1,275	132	1,142	89.6	1,453
1 固定資産除却損	95	10	84		119
2 減損損失	42		42		57
3 生産資産廃棄費用負担金	36	13	22		53
4 役員退職慰労引当金繰入額	929		929		972
5 投資損失引当金繰入額	164		164		
6 投資有価証券評価損		95	95		216
7 その他	6	12	6		34
税金等調整前四半期(当期) 純利益	2,827	577	2,249	79.6	2,772
法人税、住民税及び事業税	65	61	4		45
法人税等調整額	1,824	8	1,816		1,890
四半期(当期)純利益	937	508	429	45.8	835

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨て)

区 分	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,827	577	2,772
2 減価償却費	2,643	2,567	3,664
3 減損損失	42	0	57
4 貸倒引当金の増減額(減少: )	37	8	32
5 役員賞与引当金の増減額(減少: )	42	0	42
6 退職給付引当金(前払年金費用を含む) の増減額(減少: )	3,608	26	3,765
7 役員退職慰労引当金の増減額(減少: )	979	1,051	1,051
8 受取利息及び受取配当金(増加: )	16	25	24
9 固定資産除売却損益	164	17	202
10 投資有価証券評価損	3	95	216
11 投資有価証券売却損益(売却益: )	1	1	1
12 売上債権の増減額(増加: )	876	479	109
13 たな卸資産の増減額	217	134	115
14 仕入債務の増減額(減少: )	59	701	375
15 未払消費税等の増減額	76	12	21
16 その他	1,459	683	513
小 計	3,772	1,795	5,015
17 法人税等の支払額	28	57	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,744	1,738	4,988
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産の取得による支出	3,324	1,973	3,855
2 有形固定資産の売却による収入	122	94	509
3 無形固定資産の取得による支出	113	144	139
4 投資有価証券の取得による支出	46	16	47
5 投資有価証券の売却による収入	8	6	8
6 貸付けによる支出	65	135	65
7 貸付金の回収による収入	6	6	8
8 利息及び配当金の受取額	16	25	24
9 その他	96	257	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,492	2,395	3,750
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 自己株式の取得による支出	2	1	3
2 自己株式の売却による収入	0	0	0
3 配当金の支払額	628	651	656
4 利息の支払額		1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	630	654	660
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>			
現金及び現金同等物の増加額(減少: )	378	1,312	577
現金及び現金同等物の期首残高	4,635	5,213	4,635
現金及び現金同等物の期末残高	4,257	3,900	5,213

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成19年1月1日至平成19年9月30日) (百万円未満切捨て)

種 類	飲料・食品 製造販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	52,044	3,507	55,551		55,551
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	2,952	2,952	(2,952)	
計	52,044	6,459	58,503	(2,952)	55,551
営業費用	50,922	6,371	57,294	(3,005)	54,288
営業利益	1,121	87	1,209	53	1,262

当第3四半期連結累計期間(自平成20年1月1日至平成20年9月30日) (百万円未満切捨て)

種 類	飲料・食品 製造販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	50,711	3,842	54,554		54,554
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	2,809	2,809	(2,809)	
計	50,712	6,651	57,363	(2,809)	54,554
営業費用	50,336	6,532	56,868	(2,897)	53,971
営業利益	375	119	495	87	583

(参考)前連結会計年度(自平成19年1月1日至平成19年12月31日) (百万円未満切捨て)

種 類	飲料・食品 製造販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	68,715	4,778	73,494		73,494
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	3,855	3,857	(3,857)	
計	68,716	8,634	77,351	(3,857)	73,494
営業費用	67,546	8,505	76,052	(3,926)	72,125
営業利益	1,170	128	1,299	69	1,368

- (注) 1. 事業区分の方法は日本標準産業分類を参考とし、事業実態に合わせて区分しております。  
 2. 各事業区分に属する主要な商品の名称等は、次のとおりであります。  
 (1) 飲料・食品製造販売事業 …… コカ・コーラ、ファンタ、スプライト、ジョージア、アクエリアス、リアルゴールド、爽健美茶、一(はじめ)、煌、紅茶花伝、クーなど  
 (2) そ の 他 の 事 業 …… 貨物自動車運送業、保険代理業、書籍等の販売、冷蔵冷凍機・空調機器の修理など

所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間、当第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

海外売上高

前第3四半期連結累計期間、当第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度において、海外売上高がないため、該当事項はありません。